

はじめに

この報告書をご覧いただく産業界はじめ関係者の皆様には、日頃より当センターの利用並びに業務推進にご協力ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに平成25年度の長崎県窯業技術センターにおける活動内容をまとめました。当センターの多様で広範囲な活動内容を俯瞰していただけるものです。

現在、国内では消費にブレーキをかける消費税率の引き上げや、まだまだ軌道に乗ったとは言いがたい東日本の震災復興、更には原発再稼動問題など、目の前にある難題に正面から向き合い、前へ進めていかなければならない状況です。このような状況の中、国のマクロ経済政策であるアベノミクスでは、三本目の矢である成長戦略が掲げられ、昨年12月に成立した「産業競争力強化法」によるイノベーションの推進など、日本経済の再生に向けた具体的な動きが今後、加速していくものと期待されます。

当センターは、このような経済社会情勢の中で、県内の企業の皆様が事業を進めていくうえで、それぞれが抱える技術的な課題の解決に向け、公設試験研究機関としてどうあるべきかを常に考え、焼き物産地への技術支援や人材育成、環境・機能材料分野における企業との共同研究や支援、原材料等の試験や設備開放など、さらにご活用いただくことで地域に貢献することを使命としております。

この業務報告書を通して、たくさんの皆様に当センターの現在の姿を知っていただき、気軽にご利用していただければと願っております。

平成26年6月

長崎県窯業技術センター 所長 山本 信